館　　報

令和４年度



川越市立博物館

目　　次

１．博物館基本構想 …… 1

２．沿革 …… 3

３．施設概要

(1) 川越市立博物館 …… 7

(2) 川越城本丸御殿 …… 9

(3) 川越市蔵造り資料館 …… 10

４．運営・管理

(1) 組織と事務分掌 …… 12

(2) 博物館協議会 …… 13

(3) 博物館予算（当初予算） …… 13

(4) 入館者の状況 …… 14

(5) 入館券販売状況 …… 15

(6) 入館者数の推移 …… 16

(7) 刊行物 …… 17

①展示図録等 …… 17

②学校教育のための博物館の手引き『やまぶき』 …… 19

③文書目録等 …… 20

④博物館だより …… 22

５．展示事業

(1) 企画展示等 …… 25

(2) ふるさとのまつりコーナー展示 …… 27

(3) ギャラリー展示 …… 27

６．教育普及事業

(1) 講座･教室等の開催 …… 28

①子どもを対象とした事業 …… 28

②大人を対象とした事業 …… 28

(2) 博物館ボランティア …… 30

①ジュニアボランティア …… 30
②市民ボランティア …… 30
(3) 博物館同好会 …… 31
(4) 松平大和守家記録を読む会 …… 31
7．学校教育との連携事業
(1) 学校教育との連携事業 …… 32
①学校の利用状況 …… 32
②バス利用による博物館学習 …… 32
③小学校社会科「県内の特色ある地域」の学習を目的とした
学校への支援 …… 33
④博物館職員による訪問授業 …… 33
(2) 教員対象の連携事業 …… 33
①博物館利用研究委員会 …… 33
②川越の歴史を学ぶティーチャーズセミナー …… 35
(3) 研修会等の受け入れ …… 35
①川越市立小・中学校初任者研修 …… 35
②埼玉県教員養成セミナー …… 35
(4) 博物館実習 …… 36
8．資料の収集保管・活用
(1) 資料の収集 …… 36
①令和４年度購入資料 …… 36
②令和４年度寄贈資料 …… 36
③令和４年度末現在の収蔵資料（整理済分） …… 36
(2) 資料目録の作成 …… 36
(3) 資料特別利用 …… 36
(4) 資料館外貸出 …… 36
(5) 撮影・取材協力 …… 36
9．利用案内
(1) 入館料 …… 37
(2) 開館時間 …… 37
(3) 休館日 …… 37

１．博物館基本構想

設置の目的

川越市には、先人の残した歴史的遺産が今なお多くあり、その一部は貴重な文化財として指定され保存と活用が図られている。更に、効果的に活用し、教育・学術・文化の発展に寄与するためには、文化財資料の収集・保存、調査・研究、教育普及活動の充実が望まれる。

しかし、今までそれらに関する施設に乏しく、市民の要望を十分に満たしえない状況にあった。

この度、市制 60 周年記念事業の一環として、生涯学習のかなめとなる川越市立博物館が設置されたのは、こうした状況をふまえ、市民一人一人の人間性豊かな教育と文化づくりをめざし、郷土川越の歴史と文化に対する認識を深め、郷土に誇りを持ち、市民の愛郷心の育成に資することを目的としたものである。

基本的性格

川越市の歴史を理解することにより、現在の姿を明らかにし、市民が将来のくらしと文化を創造することに役立つ博物館とする。

１．川越市の歴史と文化が総合的に理解できる博物館とする。
２．考古、歴史、民俗、美術・工芸等を扱う人文系歴史博物館とする。
３．市民が自主的に参加できる博物館とし、市民の知的レクリェーションのセンターとして、誰もが親しめる開かれた生涯学習の場とする。
４．児童・生徒等の学習活動を援助しうる博物館とする。
５．市内外の文化財関係施設と連携をとり、文化財の有効な活用を図る。
６．博物館・文化財関係の情報サービスを整備・充実して利用者の便宜を図る。
７．他の関係機関との連携を密にし、館みずからも時代の進展と市民の要請に対応して発展できる力を備える。

博物館の機能

１．資料の収集、調査・研究

川越市を中心的な収集地域とし、更に川越に関係のある郷土資料を広範囲かつ系統的に収集し調査研究する。

考古、歴史、民俗、美術・工芸等の資料およびこれに関する複製品等の他、写真・テープ等の二次資料も収集する。特に、近世の資料に重点を置く。

２．保存管理

収集資料は、分類整理のうえ収蔵庫等で保存・管理し、保存環境・資料変化を監視し保存の万全を図る。

台帳を整備し、統一的な保存管理を行うとともに、常設展示資料の保存を考え計画的な管理を行う。

3．展示事業

博物館基本構想をふまえ、理解しやすく、親しみやすい博物館の展示を考える。

特別展示・企画展示は、常設展示を更に深めると共に、新しい資料の紹介や市民の要望等価値観の多様化に対応できるものを企画する。

4．教育普及事業

講座・講演会・研究会・映写会・体験学習ほか各種研修会等を教育的配慮のもとに行うと共に、これら事業に必要な教材・教具の開発・製作を行う。

博物館事業に対する理解と啓蒙を深めるために、各種の印刷物等を刊行し情報を提供する。

学校教育・社会教育への指導・援助・協力の他必要な活動を行う。

展示の基本理念

1．常設展示では、川越地方の歴史の発展と文化の変遷を系統的に位置付けて展示する。展示の構成としては、原始・古代、中世、近世、近・現代の歴史展示および民俗展示とし、川越地方の歴史が総合的に理解できるようにする。

特に、近世に重点を置く。また、美術・工芸は歴史資料としての観点から取り扱い、おおむね近代までのものとする。

2．原始・古代では、発掘調査等の成果を活用し、当時の生活・文化の様相を展示し、中世では、平安末期から戦国期に至る川越地方の武家社会の成立過程を展示する。近世では、江戸を支えた城下町川越の生活・文化の特色、近代では、産業の振興を中心に市制の発展過程と生活・文化の様子を展示する。

民俗では、今日の川越の特色をつくってきた職人の技、そして村方・町方の生活文化を支えてきたさまざまな祭り等の儀礼を計画的に展示する。

（平成２年３月）

２．沿　革

昭和５３年１２月　川越市郷土博物館建設資金積立基金条例を制定する。
昭和５６年　８月　川越市郷土博物館基本構想検討委員会規則を制定する。
昭和５７年　１月　川越市郷土博物館基本構想検討委員会に「地域文化の創造ならびに生涯学習施設の一環として郷土博物館の基本理念は如何にあるべきか。」を諮問する。
　　３月　川越市郷土博物館基本構想検討委員会条例を制定する。
　　９月　答申書「川越市立博物館基本構想」を提出する。
昭和５８年　３月　川越市総合計画基本計画に博物館新設構想が組み込まれる。
　　４月　川越市郷土博物館基本構想検討委員会条例を廃止し、川越市立博物館建設委員会条例を制定する。
　　９月　川越市立博物館建設委員会委員 20 名を委嘱する。
　１１月　博物館準備室を社会教育課内に設置する。
昭和５９年　４月　博物館準備室兼務職員辞令発令（室長以下３名）
昭和６０年　４月　博物館準備室を旧市立図書館内に置く。(室長以下５名、内指導主事１名・学芸員１名)
　　６月　川越市立博物館建設委員会が建設位置について市長あてに要望書を提出する。(候補地は市民グランドとする)
　１２月　博物館準備室が旧市立図書館から川越小学校内へ移転する。
昭和６１年　４月　博物館準備室職員は室長以下７名となる。(内指導主事１名・学芸員３名)
　　８月　川越市立博物館建設委員会が中間答申を提出する。
　　８月　建設基本設計は指名設計競技（指名コンペ）により実施することを決定する。
　１０月　展示基本設計は計画提案（プロポーザル）により実施することを決定する。
　１１月　（仮称）川越市立博物館展示指名設計競技業者説明会を開催す（７社参加）
　　（仮称）川越市立博物館展示指名設計競技作品受付。
　１２月　（仮称）川越市立博物館展示指名設計競技審査会を開催する。株式会社丹青社に決定。
　１２月　（仮称）川越市立博物館建築指名設計競技建築コンペ業者説明会を開催する。(11 社参加)
昭和６２年　２月　（仮称）川越市立博物館建築指名設計競技建築コンペ作品受付。（９社参加）
　　３月　（仮称）川越市立博物館建築指名設計競技審査会を開催する。
　　株式会社建築研究所アーキヴィジョンに決定。

昭和６３年　２月　臨時市議会において博物館新築工事請負契約が議決される。
・仮称川越市立博物館新築工事：佐田建設株式会社
・同　電気設備工事：共和・荻野特別共同企業体
・同　空調その他設備工事：第一・石塚特別共同企業体
３月　博物館建設工事の起工式が行われる。
１２月　定例市議会において展示工事請負契約が議決される。
・仮称川越市立博物館展示工事：株式会社丹青社
平成　元年　４月　博物館準備室職員、室長以下 11 名となる。
７月　博物館建築関係工事が完了する。
８月　博物館準備室が博物館内に移転する。
９月　川越市立博物館建設委員会が第２次中間答申を提出する。
９月　学校との連携を進めるために博物館利用研究委員会を設置する。
１２月　川越市立博物館条例が制定される。
平成　２年　２月　川越市立博物館建設委員会が最終答申を提出する。
２月　展示工事が完了する。
２月 28 日　川越市立博物館竣工式典を開催する。
３月　１日　川越市立博物館が開館する。開館記念特別展を開催する。
７月　開館以来の入館者が 10 万人となる。
１１月　博物館の建物が埼玉景観賞に選ばれる。
平成　３年　３月　『やまぶき〈学校教育のための博物館活用の手引き〉』を発行する。
平成　４年　５月　川越ライオネスクラブ結成５周年を記念して、「石の長いす」２基の寄贈を受ける。
７月　市制施行 70 周年を記念して、川越市自治会連合会より「シラカシ」の寄贈を受ける。
１１月　川越城本丸御殿南門設置工事を実施する。
１２月　川越市立博物館が登録博物館として登録される。
平成　５年　１月　開館以来の入館者が 50 万人となる。
３月　市制施行 70 周年を記念して、川越造園組合より「けやき」と「水琴窟」の寄贈を受ける。
３月　川越中央ライオンズクラブより、川越城本丸御殿玄関脇に「コウヤマキ」の寄贈を受ける。
１２月　「初雁文化章受章者三人展」展示図録が、第 35 回全国カタログ・ポスター展（主催：日本印刷産業連合会他）で通商産業省生活産業局長賞を受賞する。
１２月　川越市立博物館が第４回公共建築賞（主催:社団法人公共建築協会）で優秀賞を受賞する。
平成　７年　９月　開館５周年記念特別展を開催する。
１１月　開館以来の入館者が 100 万人となる。

１１月　川越市立博物館が平成７年度教育功労者及び優良教育施設・団体表彰式で表彰される。

平成　８年　４月　アイスランド共和国大統領が来館する。

５月　川越市立博物館制作のビデオ作品「新河岸川の舟運」が、埼玉県の平成７年度市町村広報コンクール広報ビデオ委託制作の部で特選となる。

８月　川越市立博物館制作の「新河岸川の舟運」が、平成７年度全国広報コンクール（主催：社団法人日本広報協会）の広報ビデオ委託制作の部で入選する。

平成１０年　９月　台湾地域民俗文物協会の「日本の民俗文物館視察団」が来館する。

平成１１年　５月　開館以来の入館者が 150 万人となる。

平成１２年　６月　展示解説指導員による常設展示定時解説を始める。

１０月　開館 10 周年特別展を開催する。

平成１３年　２月　博物館資料管理システムを導入する。

４月　市内小中学校にＥメールによる情報提供を開始する。

８月　平成 12 年度埼玉県教育広報コンクールにおいて「博物館だより」が入賞する。

１１月　博物館同好会による「博物館文化祭」を開催する。

１１月　埼玉大学とフレンドシップ事業を実施する。

平成１４年　４月　学校週５日制が完全実施されるのに伴い、土曜体験教室を月２回（第２・第４土曜日）実施とする。

１１月　博物館協議会に「博物館の常設展示の在り方について」を諮問する。

１２月１日　川越市立美術館が開館する。

平成１５年　４月　開館以来の入館者が 200 万人となる。

５月　小中学生の博物館・川越城本丸御殿・蔵造り資料館の入館料を無料とする。

平成１６年　３月　博物館協議会が「博物館の常設展示の在り方について」を答申する。

１０月　入間川流域の４市１村（川越市・狭山市・入間市・飯能市・名栗村）の合同企画展示「入間川再発見！－身近な川の自然・歴史・文化をさぐって－」を開催する。

平成１７年　２月　川越市立博物館常設展示検討委員会を設置する。

１１月　「川越市立博物館協議会の委員の公募に関する実施要領」を定め、平成 18 年度より博物館協議会委員の公募を始める。

平成１８年　２月　川越城が財団法人日本城郭協会より「日本 100 名城」の選定を受ける。（平成 19 年 6 月より 100 名城を探訪するスタンプラリーが開始される。）

４月　博物館市民ボランティアによる本丸御殿・蔵造り資料館ガイドを開始する。

７月　博物館のホームページをリニューアルする。
平成１９年　３月　行啓幸を記念して、川越緑地協会より「松」の寄贈を受ける。
１１月　平成 19 年度市町村立美術館活性化事業第８回共同巡回展「北大路魯山人　世田谷美術館所蔵塩田コレクション」(助成：財団法人地域創造）を市立美術館と共同で開催する。
１２月　開館以来の入館者が 250 万人となる。
平成２０年　６月　サツマイモ資料館が閉館となり、収蔵資料が博物館に寄贈となる。
１０月　川越城本丸御殿保存修理工事が始まる。
平成２１年　３月　常設展示検討委員会が「常設展示見直しの基本計画について」を提出する。
平成２２年　８月　博物館情報のメール配信サービスを開始する。
１０月　開館 20 周年特別展を開催する。
１１月　川越市立博物館常設展示改装等庁内検討委員会を設置する。
平成２３年　３月　川越城本丸御殿保存修理工事が竣工する。
１０月　埼玉県立川越高等学校創立 110 周年を記念して、同校同窓会より川越城図の碑の寄贈を受ける。(川越城本丸御殿正面南側に設置)
平成２４年　３月　博物館協議会と常設展示検討委員会が「川越市立博物館常設展示見直しに関する提言」を提出する。
７月　蔵造り資料館添屋まちなみ散策ステーション「ぷらっと」を開設。蔵造りの町並みを楽しむための散策マップ等を設置。
平成２５年　７月　開館以来の入館者が 300 万人となる。
平成２６年１０月　柳澤吉保没後 300 年記念特別展を市立美術館と共同で開催する。
平成２７年１０月　開館 25 周年特別展を開催する。
平成２８年　８月　川越市立博物館収蔵施設庁内検討委員会を設置する。
平成２９年　６月　川越市蔵造り資料館店蔵ほか耐震化工事が始まる。
１０月　家康没後 400 年記念特別展「徳川家康と天海大僧正－家康の神格化と天海－」を開催する。
平成３０年１１月　開館以来の入館者が 350 万人となる。
令和　２年　３月　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、３日から臨時休館（令和２年６月 18 日まで）する。
６月　新型コロナウイルス感染症対策のため、入館制限を始める。
１２月　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、28 日から臨時休館（令和３年３月 21 日まで）する。
令和　３年　７月　東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた記念特別展「霞ヶ関カンツリー倶楽部と発智庄平－川越にオリンピックがやってくるまで－」を開催する。
令和　４年１１月　川越市市制施行 100 周年記念特別展「川越なつかし写真館」を開催する。

３．施設概要

（１）川越市立博物館



所 在 地　川越市郭町２丁目 30 番地１

敷地面積　5606.17 ㎡

建築面積　3368.11 ㎡

延床面積　3985.97 ㎡

構造規模　鉄筋コンクリート造　一部鉄骨鉄筋コンクリート及び鉄骨造

建物高　16.20ｍ　　階数　地上３階・地下１階

各室面積　展示部門

常設展示室 982.43 ㎡　特別展示室 232.06 ㎡　ギャラリー195.68 ㎡

展示準備室 46.44 ㎡　展示ホール・受付 65.77 ㎡

教育普及部門

視聴覚ホール 117.00 ㎡　ビデオルーム 60.36 ㎡　映写室 14.96 ㎡

体験学習室 123.14 ㎡　図書閲覧室 39.97 ㎡

学芸研究部門

文献資料室 39.93 ㎡　資料調査室 50.11 ㎡　補修工作室 51.15 ㎡

スタジオ 29.94 ㎡　暗室 6.00 ㎡

保管部門

一般収蔵庫 562.60 ㎡　特別収蔵庫 122.14 ㎡　収蔵庫前室 28.61 ㎡

荷受室 57.30 ㎡　荷解室 54.60 ㎡　燻蒸室 25.65 ㎡

機材庫 20.52 ㎡

管理・一般部門

事務学芸員室 95.25 ㎡　応接室 29.19 ㎡　会議室 54.66 ㎡

休養室 15.38 ㎡　シャワー室・脱衣室 5.28 ㎡　湯沸室 3.60 ㎡

更衣室 12.37 ㎡　職員用便所 17.34 ㎡　廊下 184.14 ㎡

喫茶室 76.09 ㎡　厨房 10.20 ㎡　エントランスホール 184.84 ㎡

風除室 11.70 ㎡　来館者用便所 34.05 ㎡　身障者用便所 4.84 ㎡

ミュージアムショップ4.18 ㎡　倉庫 16.55 ㎡　エレベータ室 29.20 ㎡

エレベータ前室 32.52 ㎡　エレベータ機械室 15.22 ㎡

空調機械室（B１F）119.80 ㎡　空調機械室（２F）12.47 ㎡

機械室（３F）28.50 ㎡　その他 62.24 ㎡

建築物外

中庭(１)84.00 ㎡　中庭(２) 176.15 ㎡　体験フィールド 204.00 ㎡

屋外展示室 143.00 ㎡　屋外展示室植栽 73.95 ㎡

工事関係者一覧

○ 設計・監理　株式会社建築研究所アーキヴィジョン
○ 監　　理　川越市建設部営繕課
○ 建築・外構　佐田建設株式会社
○ 電　　気　共和・荻野特別共同企業体
○ 空調・給排　第一・石塚特別共同企業体
○ ガ　　ス　株式会社武州瓦斯
○ 収納棚・書架　株式会社ハシモト
○ CATV 設置工事　DXアンテナ株式会社
○ 展示設計監理　株式会社丹青社
○ 監　　理　川越市教育委員会博物館準備室
○ 展示工事　株式会社丹青社
○ ビデオルーム映像システム設置工事　埼玉ナショナル通信特機株式会社

建設事業費　（単位：千円）

節	説　明	合計金額	昭和 62 年度	昭和 63 年度	平成元年度
委託料 59,750	建築実施設計	32,500	32,500	－	－
	建築工事設計監理	14,400	－	7,200	7,200
	展示実施設計	12,750	2,900	9,850	－
	テレビ電波障害調査	100	100	－	－
工事請負費 1,776,024	本体工事	939,800	20,000	487,000	432,800
	電気工事	104,800	20,000	－	84,800
	空調工事	158,000	20,000	－	138,000
	外構工事（１）	71,266	－	20,000	51,266
	外構工事（２）植栽	31,621	－	－	31,621
	展示工事	400,000	－	20,000	380,000
	積層収蔵庫工事	23,876	－	－	23,876
	ＱＡ設置等設備工事	37,492	－	－	37,492
	館内電話設置工事	1,082	－	－	1,082
	可動書架設置工事	1,187	－	－	1,187
	博物館ガス工事	4,650	－	－	4,650
	ＣＡＴＶ設置工事	2,250	－	2,250	－
使用料		10	－	－	10
備品購入費 35,316	事務学芸員室等庁用器具	21,338	－	－	21,338
	視聴覚ホール音響関係	5,120	－	－	5,120
	燻蒸庫	8,858	－	－	8,858
旅　費	普通旅費	380	94	149	137
需用費	消耗品他	120	29	10	81
負担金	負担金（水道）	3,000	－	－	3,000
	合　　計	1,874,600	95,623	546,459	1,232,518

・国庫補助金

公立社会教育施設整備費補助金　　129,000 千円

（２）川越城本丸御殿

所 在 地　川越市郭町２丁目 13 番地１

敷地面積　2,178 ㎡

延床面積　802.06 ㎡

構　　造　木造平屋建

建築年代　嘉永元年（1848）



文化財指定　〔名　　称〕川越城本丸御殿及び家老詰所
〔指定年月日〕昭和 42 年３月 28 日、追加指定平成３年３月 15 日
〔指定　番号〕埼文指第 217 号
〔種　　別〕埼玉県指定有形文化財(建造物)
〔員　　数〕2 棟

概要　沿革　川越城本丸御殿は、川越藩主松平斉典が嘉永元年（1848）に造営したものである。現在はその玄関部分と家老詰所が保存されており、それらは埼玉県指定文化財となっている。現存する建物は、当時の御殿 16 棟 1,025 坪の一部で、唐破風造りの玄関と広間・鎗之間・使者之間・使番詰所・番抜老躰詰所・物頭詰所・徒詰所・坊主部屋などの諸部屋及び昭和 63 年度に移築復原された家老詰所である。

川越城は明治維新後荒廃が進み、明治３年（1870）には建物等を廃棄して城地を開墾することが許可されている。明治４年の廃藩置県により、川越藩が川越県となりやがて入間県になると、入間県庁が本丸御殿の玄関部分で開庁した。その後建物は入間郡公会所となり、明治 14 年から 19 年まで入間高麗郡立中学校として使われた。明治 32 年県立川越中学校（現県立川越高校）開設にともない、入学試験と始業式がここで行われた。その後、大正７年（1918）から昭和７年（1932）まで専売局淀橋支局川越分工場として煙草工場となった。昭和 8 年には川越地方武道奨励会の修練道場となり、名称も「初雁武徳殿」となる。戦後は市立川越第二中学校（現市立初雁中学校）の仮校舎・屋内運動場として一時使用された。

主な保存修理工事

①昭和 42 年７月～ 昭和 43 年２月　復元修理工事
（総工事費：12,660,436 円・県費補助：3,000,000 円・市　費：5,253,986 円・寄　付　金：4,406,450 円）

②平成 20 年 10 月～平成 23 年２月　保存修理工事
（総工事費：207,585,000 円・県費補助：95,454,000 円・市費：112,131,000 円）

③平成 22 年７月～平成 23 年２月　倉庫棟等保存修理工事
（市　　費：21,210,000 円）

④平成 22 年 12 月～平成 23 年３月　中庭等整備工事
（みどりの募金：4,971,750 円）

（３）川越市蔵造り資料館



所 在 地　川越市幸町７番地９

敷地面積　674.19 ㎡

延床面積　322.57 ㎡

構　　造　土蔵造２階建

建築年代　明治 26 年（1893）

文化財指定　〔名　　称〕旧小山家住宅
（店蔵、袖蔵）
〔指定年月日〕昭和 56 年 12 月 25 日
〔指定　番号〕川文指第 115 号
〔種　　別〕川越市指定有形文化財(建造物)
〔員　　数〕２棟

文化財指定　〔名　　称〕旧小山家住宅
（住居棟、一番蔵、二番蔵、三番蔵、便所棟、稲荷社、門、塀）
〔指定年月日　平成 27 年 11 月 20 日
〔指定　番号〕川文指第 236 号
〔種　　別〕川越市指定有形文化財(建造物)
〔員　　数〕６棟４基

概要　沿革　川越市蔵造り資料館は、煙草卸商を営んでいた小山家（屋号「万文」）の屋敷で、明治 26 年（1893）の大火後に四代目小山文蔵によって再建された。

通りに面して大小２棟の店蔵が並んでいるが、小さい棟は貸店舗などに利用された添屋と考えられ、明治 35 年発行の埼玉県営業便覧には「鐵物商」と記載されている。

敷地内には、店蔵に接して２階建ての住居棟（中の間・来客用の座敷などで構成されるが、一部現存せず）、その奥に文庫蔵（一番蔵）、井戸を挟み煙草蔵（二番蔵）、文庫蔵（三番蔵）と続いている。さらにその奥に便所棟がある。店蔵の南にはアーチの門を設け、それに続き敷地の南から西にかけて矩折れにレンガ塀を巡らす。一番蔵の北側にもモルタルを掃き付けたレンガ塀を設けている。稲荷社は、屋敷の南西の隅に溶岩を用いた基壇の上に置かれている。

店蔵は、明治の大火直後の４月に上棟されており、外壁を黒漆喰で仕上げた２階建て、切妻造り平入桟瓦葺きの建物である。棟は現在熨斗積みとなっているが、当初は箱棟となっていた。また、2 階の開口部を観音開きとし、霧除けを設けていることが特徴的である。

ここは、昭和 46 年（1971）に民間企業の不動産部に所有が移り競売にかかるところ市民の保存をもとめる声に押されて、昭和 47 年に川越市土地開発公社が買収。

その後、民間の料亭に貸し出されることとなり住居棟の一部が解体された所で、再び市民運動により貸し出しは中止となった。

昭和 52 年、土地開発公社から川越市に移管され、同年 10 月に管理運営を一任された川越市文化財保護協会が「蔵造り資料館」としてオープンさせた。昭和 58 年（1983）10 月からは、川越市教育委員会が引き継ぎ、平成２年（1990）からは当博物館が分館として運営している。

「添屋」は平成 15 年から「幸町観光案内所」として使用されていたが、平成 23 年度末に移転したため、平成 24 年７月 29 日から「まちなみ散歩ステーションぷらっと」をオープンし、来街者への情報提供を行っている。

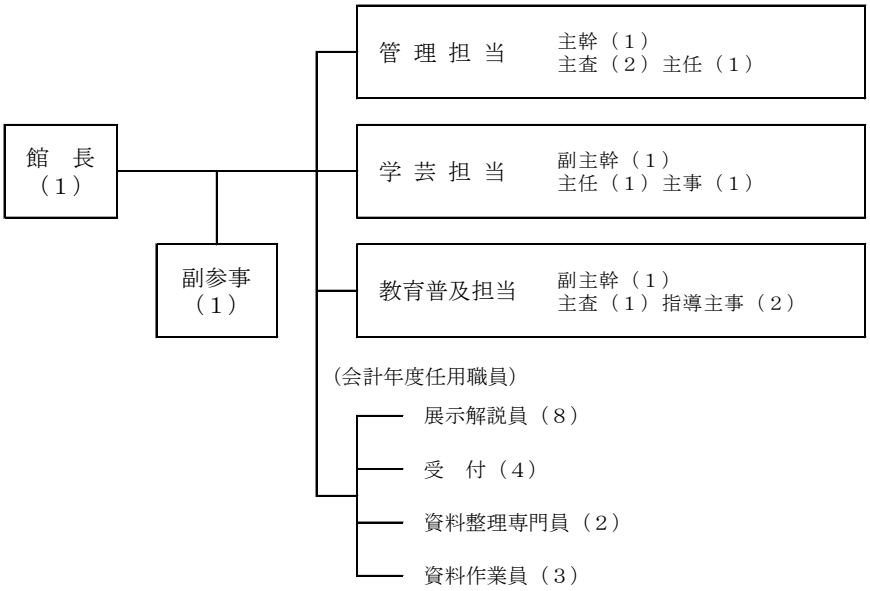
昭和 56 年に、店蔵と袖蔵（添屋）が市指定文化財となり、平成 11 年には、伝統的建造物群保存地区の決定に伴い店蔵他６棟とレンガ塀が伝統的建造物として特定された。さらに、平成 27 年に至り、住居棟から稲荷社まですべての建造物が、町家の全容を示すものとして市の文化財指定を受けた。

平成 26 年度からは、国の「文化財建造物等を活用した地域活性化事業」の補助を受け、耐震化事業に着手している。

４．運営・管理

（１） 組織と事務分掌

① 組　織（令和４年４月１日）



② 事務分掌

［管理担当］

・博物館協議会に関すること
・保守管理に関すること
・博物館予算に関すること
・備品に関すること
・防災計画に関すること
・文書管理に関すること
・入館統計並びに入館料に関すること
・工事に関すること
・減免申請に関すること
・博物館要覧、館報に関すること

［学芸担当］

・常設展示室の維持管理に関すること
・借用資料等の保険に関すること
・資料の収集保存に関すること
・燻蒸に関すること
・資料の貸し出しに関すること
・収蔵庫の整理に関すること
・特別展、企画展に関すること
・資料の調査研究に関すること
・分館の展示に関すること
・研究図書の管理に関すること
・資料の利用許可に関すること
・博物館実習に関すること
・広報に関すること

［教育普及担当］

・講座、研究会に関すること
・チラシ、各種パンフレットに関すること
・視聴覚ホールの運営に関すること
・社会教育施設との連携に関すること
・閲覧室用図書室の管理について
・学校教育との連携に関すること
・展示解説に関すること
・体験学習室に関すること
・他の博物館等との連携に関すること

（２） 博物館協議会

① 委　員（任期：令和４年７月３０日～令和６年７月２９日）

会　長	山　野　清二郎	
副会長	水　谷　　薫	
	能　瀬　さち子	
委　員	井　口　修　一	服　部　安　行
	矢　部　智　史	鎌　倉　敬　文
	寺　田　智　礼	河　合　正　雄
	佐　藤　　誠	濱　田　由理子
	羽　石　　明	笛　木　　栄
	松　本　紀美子	矢　野　礼　美

② 協議事項

開　催　日	会　　議　　内　　容
8 月 18 日(水)	報告：令和４年度職員体制について 博物館協議会開催状況について 入館状況について 新型コロナウイルス感染症対応について 令和３年度事業報告について 令和４年度事業計画について
2 月 9 日(木)	議事：令和５年度事業計画（案）について 報告：蔵造り資料館耐震化事業について

（３） 博物館予算（当初予算）

（千円）

		当初予算額
博物館管理費		９１，４９９
事業	博物館等運営管理	６５，０５５
	博物館の充実	２２，０７９
	資料収集保存・調査研究	４，３６５

（川越城本丸御殿及び川越市蔵造り資料館を含む）

（４） 入館者の状況

① 博物館

	開館日数	有料入館者													無料入館者				入館者合計	1日平均
		単館券		団体		2館券		期間限定3館券		期間限定4館券		他館共通		合計	一般	大学高校	中学生以下	合計		
		一般	大学高校	一般	大学高校	一般	大学高校	一般	大学高校	一般	大学高校	一般	大学高校							
4月	25	958	111	0	0	112	10	176	114	17	8	532	132	2,170	268	60	601	929	3,099	124
5月	26	1,374	119	92	0	202	29	173	22	58	5	651	51	2,776	572	0	2,464	3,036	5,812	224
6月	20	550	65	0	0	75	8	38	5	46	5	335	34	1,161	563	5	3,943	4,511	5,672	284
7月	26	776	66	0	0	93	10	113	9	17	3	443	39	1,569	466	25	2,894	3,385	4,954	191
8月	25	947	104	1	0	136	32	116	42	27	10	536	80	2,031	435	31	579	1,045	3,076	123
9月	26	1,068	119	144	0	99	18	93	29	17	3	497	69	2,156	877	5	4,879	5,761	7,917	305
10月	25	1,021	93	158	1	122	12	121	10	38	2	548	62	2,188	828	0	3,363	4,191	6,379	255
11月	26	1,128	98	24	0	126	7	122	8	32	3	546	38	2,132	1,790	71	4,435	6,296	8,428	324
12月	23	895	49	75	0	74	5	66	10	19	3	326	21	1,543	1,646	36	1,930	3,612	5,155	224
1月	23	1,019	73	1	0	128	7	108	14	28	5	532	48	1,963	495	67	1,899	2,461	4,424	192
2月	23	1,345	116	51	0	119	15	136	14	42	5	560	55	2,458	649	1	3,339	3,989	6,447	280
3月	26	1,265	183	130	0	138	26	128	32	36	2	615	78	2,633	426	0	989	1,415	4,048	156
合計	294	12,346	1,196	676	1	1,424	179	1,390	309	377	54	6,121	707	24,780	9,015	301	31,315	40,631	65,411	222

② 川越城本丸御殿

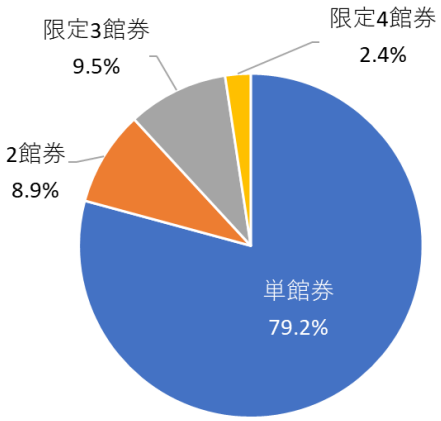
	開館日数	個 人											無料				入館者合計	1日平均
		単館券		団体		期間限定3館券		期間限定4館券		他館共通		合計	一般	大学高校	中学生以下	合計		
		一般	大学高校	一般	大学高校	一般	大学高校	一般	大学高校	一般	大学高校							
4月	25	4,859	332	17	0	385	26	23	1	264	177	6,084	173	66	686	925	7,009	280
5月	26	7,812	530	103	2	396	11	44	2	311	38	9,249	345	0	2,570	2,915	12,164	468
6月	25	3,491	218	55	0	206	15	17	1	134	15	4,152	345	108	3,008	3,461	7,613	305
7月	26	3,016	184	4	0	265	20	22	1	173	20	3,705	211	0	1,966	2,177	5,882	226
8月	25	3,648	401	11	0	273	44	28	14	219	61	4,699	226	19	808	1,053	5,752	230
9月	26	3,837	381	60	44	314	29	28	3	183	37	4,916	303	2	3,174	3,479	8,395	323
10月	25	5,822	328	332	2	321	35	26	7	238	25	7,136	435	12	2,423	2,870	10,006	400
11月	26	5,758	252	158	0	319	19	20	0	221	12	6,759	1,145	21	2,959	4,125	10,884	419
12月	23	3,132	186	105	0	239	12	19	0	119	16	3,828	1,637	82	1,457	3,176	7,004	305
1月	23	5,355	287	72	0	339	21	36	3	218	22	6,353	271	62	1,650	1,983	8,336	362
2月	23	5,157	407	126	10	305	29	42	2	265	25	6,368	244	10	1,710	1,964	8,332	362
3月	26	5,881	601	75	0	381	41	114	2	237	57	7,389	260	45	1,121	1,426	8,815	339
合計	299	57,768	4,107	1,118	58	3,743	302	419	36	2,582	505	70,638	5,595	427	23,532	29,554	100,192	335

③ 蔵造り資料館

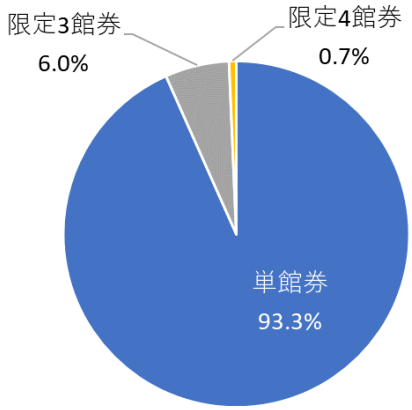
※耐震化工事のため休館。

（５） 入館券販売状況

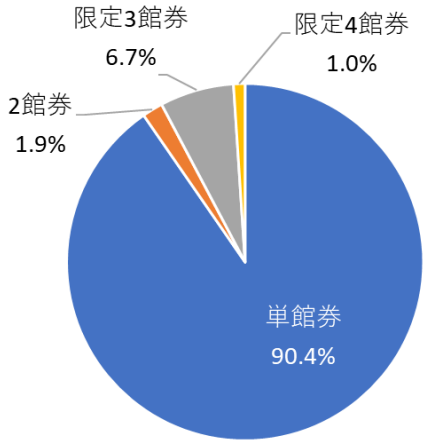
①博物館



② 川越城本丸御殿



③ 二館合計



（６） 入館者数の推移

	博　物　館			
年度	開館日数	有　料 入館者数	無　料 入館者数	入館者数 合　計
元	25	15,758	18,796	34,554
2	293	119,434	54,357	173,791
3	282	104,495	55,764	160,259
4	284	113,018	57,392	170,410
5	282	121,157	53,552	174,709
6	283	116,985	47,888	164,873
7	285	117,026	51,299	168,325
8	282	106,571	44,487	151,058
9	281	101,908	44,536	146,444
10	277	94,351	45,434	139,785
11	280	89,968	48,271	138,239
12	282	87,474	48,274	135,748
13	285	75,981	47,835	123,816
14	287	69,198	44,426	113,624
15	285	63,365	51,708	115,073
16	290	52,183	51,176	103,359
17	291	46,486	51,485	97,971
18	286	50,284	53,057	103,341
19	294	54,178	55,549	109,727
20	289	44,829	49,989	94,818
21	287	40,489	48,533	89,022
22	288	30,449	46,714	77,163
23	293	35,239	55,507	90,746
24	291	40,394	53,924	94,318
25	285	39,558	51,799	91,357
26	292	41,498	56,707	98,205
27	289	44,616	53,409	98,025
28	295	37,855	58,661	96,516
29	293	35,592	53,971	89,563
30	294	35,213	53,941	89,154
元	268	28,037	49,419	77,456
2	161	10,773	10,332	21,105
3	292	19,770	33,671	53,441
4	294	24,780	40,631	65,411
計	9,365	2,108,912	1,642,494	3,751,406

	本 丸 御 殿			
	開館日数	有　料 入館者数	無　料 入館者数	入館者数 合　計
25	9,346	1,647	10,993
297	83,452	27,296	110,748
292	84,893	31,891	116,784
289	91,767	32,639	124,406
289	113,158	35,098	148,256
292	111,122	30,120	141,242
288	108,639	33,796	142,435
290	103,440	28,469	131,909
290	101,420	28,870	130,290
289	92,390	28,542	120,932
291	95,682	29,114	124,796
293	90,556	29,793	120,349
297	87,715	30,082	117,797
293	83,286	24,044	107,330
293	84,820	32,554	117,374
298	70,969	29,483	100,452
299	69,783	30,667	100,450
295	77,760	33,135	110,895
303	103,519	35,361	138,880
169	60,953	19,024	79,977
保存修理工事のため休館			
5	0	8,669	8,669
300	96,983	40,469	137,452
298	94,967	35,625	130,592
296	101,815	34,474	136,289
299	100,104	36,565	136,669
297	118,135	36,562	154,697
300	122,783	47,023	169,806
298	119,006	37,229	156,235
299	113,301	36,584	149,885
273	92,041	31,293	123,334
166	28,204	11,874	40,078
297	47,438	26,519	73,957
299	70,638	29,554	100,192
8,899	2,830,085	984,065	3,814,150

	蔵造り資料館			
	開館日数	有　料 入館者数	無　料 入館者数	入館者数 合　計
25	7,744	1,309	9,053
297	84,227	26,023	110,250
292	88,369	31,849	120,218
289	98,093	32,726	130,819
289	113,442	37,563	151,005
292	114,580	33,048	147,628
293	115,092	34,398	149,490
290	114,082	29,668	143,750
290	110,373	30,244	140,617
289	97,035	30,334	127,369
291	94,362	31,148	125,510
293	88,851	31,543	120,394
297	87,164	30,388	117,552
293	80,250	25,509	105,759
293	64,111	32,430	96,541
301	51,561	30,048	81,609
302	46,961	31,086	78,047
299	47,892	29,649	77,541
306	57,311	31,286	88,597
299	53,946	29,437	83,383
298	64,473	29,341	93,814
297	42,785	27,315	70,100
303	40,200	32,011	72,211
301	42,879	32,089	74,968
299	47,042	31,589	78,631
302	45,434	32,812	78,246
299	49,774	30,011	79,785
265	29,298	92,157	121,455
76		74,885	74,885
耐震化工事のため休館			
8,060	1,977,331	971,896	2,949,227

（７） 刊行物

① 展示図録等

発行年度	回　数　等	刊　行　物　名　称	備考
平成元	開館記念特別展	職人絵　― 姿絵にみる匠の世界 ―	
2	第１回企画展	うまどしの絵馬展　ーその祈りとかたちー	売切れ
	第２回企画展	写真展　― 明治・大正・昭和の川越 ―	
	第２回特別展	川越の指定文化財	
	開館１周年記念 第３回企画展	松平周防守と川越藩	
3	第４回企画展	美の先達者たち　― 鏡にみる日本の美と心 ―	
	第３回特別展	川越の生んだ鬼才　岩崎勝平	
	市制施行 70 周年記念 第５回企画展	川越城　― 失われた遺構を探る ―	売切れ
		常設展示図録	
4	市制施行 70 周年記念 第４回特別展	川越ゆかりの画人たち　― 近世から近代に活躍した 11 人の精華 ― 川越ゆかりの近代日本画の巨匠　― 橋本雅邦と小茂田青樹 ―	
	市制施行 70 周年記念 第６回企画展	川越の名刀展	
	市制施行 70 周年記念	初雁文化章受章者三人展	売切れ
5	第５回特別展	三芳野神社の社宝	
6	没後 30 年記念	岩崎勝平　― その芸術と生涯 ―	売切れ
	第８回企画展	川越学事始め　― 郷土史の系譜を追う ―	
7	開館５周年記念 特別展	酒井忠勝にみる近世大名の姿　― 川越藩祖酒井家ゆかりの品々 ―	
	第９回企画展	古墳時代の川越	売切れ
8	第 10 回企画展	町割から都市計画へ　― 絵地図でみる川越の都市形成史 ―	売切れ
9	第 11 回企画展	川越氷川祭礼の展開	売切れ
	第 12 回企画展	近世陶磁への招待　― 陶磁器からみた江戸時代のくらし ―	
		講演集	
10	第 13 回企画展	黒船来航と川越藩	
	第 14 回企画展	中世びとの祈り　― 仏像・金工品にみる祈りのかたち ―	
11	第 15 回企画展	悪疫退散・五穀豊穣 ― 川越の獅子舞	
	第 16 回企画展	河越氏と河越館	売切れ
12	開館 10 周年特別展	徳川三代の時代と川越	
	第 17 回企画展	歴史探検　縄文時代をゆく	
13	第 18 回企画展	川越の大山信仰	
	第 19 回企画展	中世びとの祈りⅡ　― 板碑のある風景 ―	
14	第 20 回企画展	市制施行 80 年　資料でたどる川越市の歩み	
	第 21 回企画展	はにわは語る	
15	第 22 回企画展	川越の算額と和算家	
	第 23 回企画展	刀工　藤枝英義とその時代	
16	第 24 回企画展 入間川４市１村合同企画展	「入間川再発見」　ー身近な川の自然・歴史・文化をさぐってー	
	第 25 回企画展	民間信仰のかたち　― 地域と講 ―	
17	第 26 回企画展	中世陶磁への招待　― 地中からのメッセージ ―	
	第 27 回企画展	川越の大絵馬　― 絵柄に託された人々の願い ―	
18	第 28 回企画展	柳沢吉保と風雅の世界	
	第 29 回企画展	子どもの世界　― 祝いと遊び ―	
19	第 30 回企画展	後北条氏と河越城	
	第８回共同巡回展	北大路魯山人　世田谷美術館所蔵塩田コレクション関連展示 食の器　― 暮らしの器と魯山人の器 ―	売切れ
20	第 31 回企画展	大名行列　― 描かれた松平大和守家の行列 ―	
	第 32 回企画展	諸願成就　だるまさん大集合	

発行年度	回　数　等	刊　行　物　名　称	備考
平成21	第 33 回企画展	川越城本丸御殿の杉戸絵と舩津蘭山	
	第 34 回企画展	よみがえる河越館跡 国指定史跡河越館跡の発掘 ― その成果と課題	
22	開館 20 周年記念 特別展	知恵伊豆 信綱－松平信綱と川越藩政－	
	第 35 回企画展	川越城本丸御殿竣工記念　川越城－描かれた城絵図の世界－	
23	第 36 回企画展	名主奥貫友山と寛保２年の大水害	
	市制施行９０周年記念 第 37 回企画展	建築家保岡勝也の軌跡と川越	
		川越城本丸御殿保存修理工事記録ＤＶＤ	売切れ
		川越城本丸御殿保存修理工事報告書	売切れ
		川越城が知りたい！	
24	市制施行９０周年記念 特別展	譜代大名秋元家と川越藩　－川越織物の礎を築いた大名秋元家－	
	第 38 回企画展	新河岸川舟運と川越五河岸のにぎわい	
25	第 39 回企画展	戦国時代の河越　－城・城下・村－	
	第 40 回企画展	絵図で見る川越　－空から眺める江戸時代の川越－	
26	柳澤吉保没後 300 年記念 特別展	柳澤吉保とその時代　－柳沢文庫伝来の品々を中心に－	売切れ
	第 41 回企画展	古代入間郡の役所と道	
27	第 42 回企画展	妖怪　－闇にひそむ不可思議なるもの－	
	開館 25 周年記念 特別展	小堀遠州と川越藩主　－遠州と酒井忠勝の交流を中心に－	
28	第 43 回企画展	城下町川越の町人世界	
	第 44 回企画展	蔵・倉・くら　－蔵造りと川越の町並みを知ろう－	
29	徳川家康没後 400 年記念 特別展	徳川家康と天海大僧正　－家康の神格化と天海－	
	第 27 回収蔵品展	三芳野神社とその社宝	
30	第 28 回収蔵品展	戦中・戦後の川越の歩み	
	第 45 回企画展	川越とサツマイモ	
	第 46 回企画展	山王塚古墳　上円下方墳の謎に迫る	
令和元	第 47 回企画展	北武蔵剣術物語　－川越藩剣術師範大川平兵衛とその時代－	
	第 48 回企画展	川越の地口行灯　－一力斎とうろう絵の世界－	
3	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた記念特別展	霞ヶ関カンツリー倶楽部と発智庄平－川越にオリンピックがやってくるまで－	
4	川越市市制施行 100 周年記念 特別展	川越なつかし写真館	

② 学校教育のための博物館の手引き『やまぶき』

	刊行年度	テ　ー　マ
第１集	平成 ２年度	各教科領域の新学習指導要領と文化財
第２集	平成 ４年度	各教科領域の新学習指導要領と文化財
第３集	平成 ６年度	地域に根ざした博物館・文化財活用を目指す各教科・領域研究
第４集	平成 ８年度	地域に根ざした博物館・文化財活用を目指す各教科・領域研究
第５集	平成 10 年度	地域に根ざした博物館・文化財活用を目指す各教科・領域研究
第６集	平成 11 年度	総合的な学習の時間における博物館活用の研究 －総合的な学習の時間における博物館活用の研究・実践
第７集	平成 12 年度	総合的な学習の時間における博物館活用の研究 －総合的な学習の時間における多様な学習形態の構想と実践－
第８集	平成 13 年度	各教科・領域及び総合的な学習の時間における博物館・文化財活用 －基礎的・基本的な内容の定着をめざす博物館・文化財活用－
第９集	平成 14 年度	各教科・領域及び総合的な学習の時間における博物館・文化財活用 －基礎的・基本的な内容の定着をめざす博物館・文化財活用－
第 10 集	平成 16 年度	教科、「総合的な学習の時間」における博物館・文化財活用 －郷土川越の学習に直結する効果的な博物館・文化財の活用－
第 11 集	平成 18 年度	教科、「総合的な学習の時間」における博物館・文化財活用 －学校におけるコンピュータを介した博物館資料の活用－
第 12 集	平成 20 年度	コンピュータによる博物館資料を活用した学習指導の在り方
第 13 集	平成 22 年度	博物館の常設展示を活用した授業づくり ～新学習指導要領のねらいに迫る博物館資料の活用～
第 14 集	平成 24 年度	博物館の資料を活用した授業づくり ～博物館授業と訪問授業の工夫～
第 15 集	平成 26 年度	博物館の資料を活用した授業づくり ～社会科における博物館資料の効果的な活用～
第 16 集	平成 28 年度	博物館（人・もの・箱）を活用した授業づくり ～社会・英語・総合的な学習の時間における博物館の効果的な活用～
第 17 集	平成 30 年度	伝統を受け継ぎ伝えていくための、博物館を活用した授業づくり ～新学習指導要領のねらいに迫る博物館の効果的な活用～
第 18 集	令和２年度	伝統・文化の継承やスポーツとの関わりを探求する博物館を活用した授業づくり ～社会科・体育・保健体育科・総合的な学習の時間における博物館の効果的な活用～
第 19 集	令和４年度	川越の魅力を学び・発信できる子供を育む単元計画の作成と授業づくり ～総合的な学習の時間における効果的な博物館の活用～

＊『やまぶき』は博物館利用研究委員会の研究成果をまとめた報告集。博物館利用研究委員会は、教育課程に位置付けた博物館活用を研究するため、市内小・中学校の校長、教頭及び教諭で構成。

③ 文書目録等

名　　称	刊 行 年 月
収蔵文書目録（１）伊藤禎二氏寄贈文書目録	平成　2 年　3 月
収蔵文書目録（２）灌頂院寄託文書	平成　3 年　3 月
光西寺松井家文書目録	平成　3 年　3 月
収蔵文書目録（３）入間郡打越村・岸伝平氏収集文書	平成　4 年　3 月
中福阿弥陀堂文書目録	平成　4 年　3 月
収蔵文書目録（４）上寺山時田家文書・三芳野神社近代史料	平成　5 年　3 月
今福山口家文書目録	平成　6 年　3 月
豊田本自治会保管文書目録	平成　6 年　3 月
上新河岸遠藤家文書目録	平成　7 年　3 月
収蔵文書目録（５）比企郡上熊井村文書	平成　7 年 12 月
収蔵文書目録（６）香取家文書	平成　9 年　3 月
収蔵文書目録（７）山畠家文書	平成 10 年　3 月
収蔵文書目録（８）諸家文書	平成 11 年　3 月
収蔵文書目録（９）山畠家文書追加・小高亨氏寄贈山畠家文書	平成 12 年　3 月
川越城二の丸発掘調査報告書	平成 12 年　3 月
古谷上松本家文書目録（１）	平成 13 年　3 月
古谷上松本家文書目録（２）	平成 14 年　3 月
南田島自治会保管文書目録・連雀町自治会保管文書目録	平成 15 年　3 月
川越城跡第４次調査発掘調査報告書	平成 16 年　3 月
川越城跡第２次調査発掘調査報告書	平成 18 年　3 月
渡辺刀水収集文書目録	平成 19 年　3 月
収蔵文書目録（10）元町戸田家	平成 20 年　3 月
太田家文書目録	平成 21 年　3 月
収蔵文書目録（11）木村家・山崎家・矢島家・松岡家	平成 22 年　3 月
収蔵文書目録（12）喜多町染谷家・六軒町中澤家	平成 23 年　3 月
大中居長嶋家・仙波原家文書目録	平成 24 年　3 月
菅間竹ノ谷家文書目録	平成 25 年　3 月
上寺山帯津家文書目録	平成 26 年　3 月
収蔵文書目録（13）細田源吉文書	平成 27 年　3 月

名　　称	刊 行 年 月
収蔵文書目録(14)　大谷家文書・梅田家文書・光西寺松井家文書	平成 28 年　3 月
川越藩松平大和守家記録　一	平成 28 年　3 月
川越喜多町名主御用日記　一	平成 28 年　3 月
下広谷自治会保有文書	平成 29 年　3 月
川越藩松平大和守家記録　二	平成 29 年　3 月
川越喜多町名主御用日記　二	平成 29 年　3 月
小杉権次郎氏収集文書・旧鍛冶町名主北野家文書目録	平成 30 年　3 月
川越藩松平大和守家記録　三	平成 30 年　3 月
川越喜多町名主御用日記　三	平成 30 年　3 月
旧鏡山酒造竹内家文書目録	平成 31 年　3 月
川越藩松平大和守家記録　四	平成 31 年　3 月
川越喜多町名主御用日記　四	平成 31 年　3 月
笠幡　発智家文書目録	令和 2 年　3 月
川越藩松平大和守家記録　五	令和 2 年　3 月
川越喜多町名主御用日記　五	令和 2 年　3 月
川越藩松平大和守家記録　六	令和 5 年　3 月

④ 博物館だより

号 数	発行年度	主　　な　　内　　容
創刊号	平成 2 年 10 月	発刊によせて
2 号	平成 3 年 6 月	第 1 回収蔵品展
3 号	平成 3 年 8 月	市川渡と「博物館」
4 号	平成 4 年 2 月	１本の円筒埴輪から－伝 下小坂出土の円筒埴輪について－
5 号	平成 4 年 3 月	川越の生んだ鬼才－岩崎勝平
6 号	平成 4 年 8 月	「主図合結記」本の川越城図と静嘉堂文庫蔵「武州川越城図」について
7 号	平成 4 年 12 月	近世から近代に活躍した川越ゆかりの画人たち
8 号	平成 5 年 3 月	川越大火百年－大火の歴史と街づくり－
9 号	平成 5 年 11 月	川越に牛が来た頃－川越の犂－
10 号	平成 6 年 2 月	“三芳野神社の謎”のはなし
11 号	平成 6 年 3 月	二代目川越藩主酒井忠利書状について
12 号	平成 6 年 12 月	第 5 回収蔵品展より「安齋家の幻燈機」
13 号	平成 7 年 2 月	「武総将棋手相鑑」と川越（上）
14 号	平成 7 年 3 月	神さま絵かき岩崎勝平－その芸術と生涯－
15 号	平成 7 年 11 月	第 8 回企画展「川越学事始め－郷土史の系譜を追う」
16 号	平成 8 年 3 月	学校の行事に見る子供たちの生活－戦時下の川越より－
17 号	平成 8 年 3 月	開館 5 周年記念特別展「酒井忠勝にみる近世大名の姿」
18 号	平成 8 年 8 月	第 9 回企画展「古墳時代の川越」
19 号	平成 9 年 1 月	川越箪笥産業の記録
20 号	平成 9 年 3 月	新発見の氷川祭礼絵巻
21 号	平成 9 年 8 月	第 10 回企画展「町割から都市計画へ－絵地図でみる川越の都市形成史－」
22 号	平成 10 年 1 月	第 7 回収蔵品展「暮らしのあかり」
23 号	平成 10 年 3 月	第 11 回企画展「川越氷川祭礼の展開」
24 号	平成 10 年 7 月	川越に残る建物ウオッチング－川越の洋風建築と保岡勝也－
25 号	平成 10 年 11 月	江戸リサイクル再考－陶磁器の焼継ぎを中心として－
26 号	平成 11 年 3 月	古代の川越のまつり
27 号	平成 11 年 7 月	下小坂の獅子舞
28 号	平成 11 年 11 月	武州高麗郡下小坂村絵図について
29 号	平成 12 年 3 月	川越藩腰物拝見録－刀剣から見た近世武家社会－
30 号	平成 12 年 7 月	中福村絵図について
31 号	平成 12 年 11 月	子ども博物館教室 「川越の歴史探検－ピンホールカメラを作って文化財を写そう－」
32 号	平成 13 年 3 月	石仏のはなし
33 号	平成 13 年 7 月	木野目村絵図に描かれた情報を読む
34 号	平成 13 年 11 月	博物館資料から児童・生徒の見学学習のネタをさがして－鏡のはなし－
35 号	平成 14 年 3 月	新たに確認された大山灯籠と奉納木太刀
36 号	平成 14 年 7 月	出前授業－その実践と雑感－
37 号	平成 15 年 1 月	近代化と赤煉瓦Ⅲ

号 数	発行年度	主　　な　　内　　容
38 号	平成 15 年 3 月	武州河越住則重考－後北条氏配下の刀工たち－
39 号	平成 15 年 7 月	橋本雅邦「画宝会席画筆記　附起源一」記録について
40 号	平成 15 年 12 月	川越の映画館の変遷
41 号	平成 16 年 3 月	地口行灯について
42 号	平成 16 年 7 月	江戸時代川越近郊村々特産の瓜・茄子・青物の出荷について
43 号	平成 16 年 12 月	刀工藤枝英義とその時代
44 号	平成 17 年 3 月	第 15 回ミニ展「むかしの勉強・むかしの遊び」をふりかえって
45 号	平成 17 年 7 月	川越城築城に関する研究ノート
46 号	平成 17 年 12 月	教室で授業をするのと同じように博物館を活用してみませんか！
47 号	平成 18 年 3 月	戦時中の紙芝居と国民
48 号	平成 18 年 7 月	奈良絵本「ちかはる」について
49 号	平成 18 年 12 月	野外博物館教室「まちなかの美をあるく」から
50 号	平成 19 年 3 月	松平周防守家伝来の旗について
51 号	平成 19 年 9 月	災害と「地域の結びつき」を考える－川越の火事の記録と記憶から－
52 号	平成 19 年 12 月	シンポジウム「戦国時代のかわごえ」
53 号	平成 20 年 3 月	松平大和守侯行列図巻の紹介
54 号	平成 20 年 8 月	芭蕉百回忌祭文「祭芭蕉翁文」と『俳諧茂ヽ代草』
55 号	平成 20 年 12 月	本丸御殿を復元する－古絵図を用いた等角投影図の作成－
56 号	平成 21 年 3 月	川越城本丸御殿の杉戸絵
57 号	平成 21 年 7 月	古文書を読み解く－沢庵和尚の書状をめぐって－
58 号	平成 21 年 12 月	国指定史跡河越館跡－最新の研究成果と史跡整備－
59 号	平成 22 年 3 月	松平大和守家文庫「御在城中年中行事」の紹介
60 号	平成 22 年 7 月	川越城下の御鷹部屋
61 号	平成 22 年 12 月	公教育制度のはじまり－初等教育草創期の学校制度－
62 号	平成 23 年 3 月	川越城本丸御殿保存修理工事－平成の修理を振り返る－
63 号	平成 23 年 7 月	同盟通信社川越分室について
64 号	平成 23 年 12 月	江戸時代の「善行」－「武州川越善行録」にみる城下町の人々とくらし－
65 号	平成 24 年 3 月	鶴と星七宝に四方花菱文様蒔絵鞍・鐙について
66 号	平成 24 年 7 月	古尾谷八幡神社に残された将軍の朱印状
67 号	平成 24 年 12 月	川越商工会議所資料について
68 号	平成 25 年 3 月	新たな博物館学習の展開
69 号	平成 25 年 7 月	江戸に進出する川越町人
70 号	平成 25 年 12 月	川越に残る近世・近代の石積とその変遷
71 号	平成 26 年 3 月	川越時代の大興寺と東照宮の変遷
72 号	平成 26 年 7 月	伊能図に描かれた川越
73 号	平成 26 年 12 月	伝えられた歴史文化―「初雁」の由来から紐解く―

号 数	発行年度	主　　な　　内　　容
74 号	平成 27 年 3 月	新指定文化財「葵御紋大旗」の再考
75 号	平成 27 年 8 月	「大家」墨書土器から川越の古代史を考える
76 号	平成 27 年 12 月	川越藩士の神隠し―安政五年皆川市郎平の一件から―
77 号	平成 28 年 3 月	「家康天海対座図」の紹介
78 号	平成 28 年 8 月	川越市指定史跡・三変稲荷神社古墳出土の鼉龍鏡
79 号	平成 28 年 12 月	第 2 回川越の指定文化財展を終えて
80 号	平成 29 年 3 月	第 44 回企画展「蔵・倉・くら―蔵造りと川越の町並みを知ろう―」によせて
81 号	平成 29 年 8 月	ペリー来航と川越藩の対応
82 号	平成 29 年 12 月	わたしたちの郷土川越展「自由研究の部」新設
83 号	平成 30 年 3 月	三芳野天神社絵図の紹介
84 号	平成 30 年 8 月	近世考古学への招待―江戸時代のやきものの見方・考え方―
85 号	平成 30 年 12 月	「事後継志録」にみる松平信綱（1）―「智恵伊豆」の実像―
86 号	平成 31 年 3 月	川越の船問屋、伊勢安作成の「甘藷受払帳」についての一考察
87 号	令和元年 8 月	館蔵資料紹介　六尺押絵羽子板
88 号	令和元年 12 月	博物館ノート　戦争体験―語り継ぎたい平和の心―を実施して
89 号	令和 2 年 3 月	博物館ノート　少しでも大きく、少しでも立派に…　壺形埴輪のはなし
90 号	令和 3 年 3 月	松平周防守家居合師範羽方家の日常

５．展示事業

（１） 企画展示等

①第 30 回収蔵品展

「博物館のたからものⅡ―学芸員おすすめの収蔵資料―」



・**会　　期**　令和 4 年 7 月 16 日(土)～8 月 28 日(日)
・**展示概要**　令和元年度実施の収蔵品展「博物館のたからもの」に続き、これまであまり来館者の目に触れていない担当者おすすめの収蔵資料を展示・公開した。
　また、中央図書館との協同事業として「図書館のたからもの」コーナーを設け、図書館収蔵資料についても併せて展示・公開した。

・**展示構成**　Ⅰ 考古に関する収蔵資料から
　Ⅱ 歴史の収蔵資料から
　特別展示！図書館のたからもの
　Ⅲ 古美術の収蔵資料から
　Ⅳ 民俗の収蔵資料から
・**主な展示資料及び資料点数**　須恵器提瓶ほか 40 点
・**入館者数**　4,414 人(1 日平均 122 人)
・**印 刷 物**　ポスター・チラシ・図録
・**関連事業**　なし

②令和 4 年度埼玉県名刀展「新刀から現代刀へ―受け継がれる日本刀の美―」



・**会　　期**　令和 4 年 9 月 17 日(土)～10 月 2 日(日)
・**展示概要**　本展覧会は埼玉県刀剣保存協議会との共催事業であり、本年度で 64 回目を迎える。出品資料は埼玉県刀剣保存協議会会員所蔵の鎌倉時代から江戸時代まで刀剣・刀装具であるが、今回は主に江戸時代から現代までに制作された刀剣を展示した。博物館からは光平の刀（寄贈）、忠広の刀（寄贈）を特別出品した。

・**展示構成**　Ⅰ 新刀の部
　Ⅱ 新々刀の部
　Ⅲ 現代刀の部
・**主な展示資料及び資料点数**　脇指　村正ほか 41 点
・**入館者数**　4,278 人(1 日平均 305 人)
・**印 刷 物**　ポスター・チラシ・パンフレット
・**関連事業**　なし

③川越市市制施行 100 周年記念特別展

「川越なつかし写真館」

・**会　　期**　令和 4 年 11 月 5 日(土)～12 月 18 日(日)



・**展示概要**　川越市市制施行 100 周年を記念し、大正 11 年（1922）に川越市が誕生してから現在にいたるまでの市民生活の歩みについて、写真や当時使われていた道具を通じて紹介した。

特に川越市 100 年の歴史の中で最も長い昭和を中心に取り上げた。

・**展示構成**　Ⅰ　祝！　市制施行　～戦前・戦中の川越～
Ⅱ　なつかしい昭和のくらし　～戦後の川越～
Ⅲ　“川越”を撮ったカメラ　～博物館収蔵のカメラ～
Ⅳ　川越市 100 年を振り返る

・**主な展示資料及び資料点数**　　川越町役場公印ほか 103 点

・**入館者数**　　11,458 人（1 日平均 309 人）

・**印 刷 物**　　ポスター・チラシ

・**関連事業**　　なし

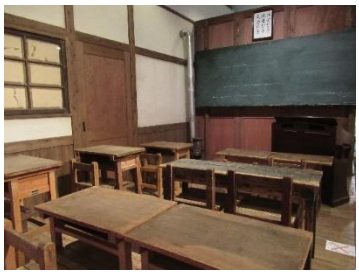
④第３１回「むかしの勉強・むかしの遊び」展

・**会　　期**　令和 5 年 1 月 21 日（土）～3 月 5 日（日）

・**展示概要**　鉄道交通や自動車交通が盛んになる時代を区分し、町の変遷や人々のくらし、学校の勉強や遊びなどを紹介し、身近な文化財に目を向ける契機となる展示とした。

展示では、「お正月遊び」をアイキャッチとし、凧、羽子板、独楽、双六等を多数展示した。本展示では、小学 3 年生の社会科学習の内容に合わせ、時代区分を「鉄道交通が盛んになるころ」「自動車交通が盛んになるころ」とし、「生活道具」「勉強」「遊び」に関わる資料を展示するとともに、学校のようすや町のようすの移り変わりがわかる写真パネルを数多く展示した。

本展示は、子どもにとってもわかりやすいものにするために、子ども向けのキャプションの設置や特別展示室への誘導看板を掲示した。





・**展示構成**　Ⅰ　アイキャッチ
お正月遊びの道具の展示
Ⅱ　再現展示
駄菓子屋・台所・居間・教室の展示
Ⅲ　鉄道交通が盛んになるころ
明治～昭和 20 年代の「くらしの道具」「学習用具」「遊び道具」の展示
Ⅳ　自動車交通が盛んになるころ
昭和 30 年代から 50 年代の「くらしの道具」「学習用具」「遊び道具」の展示
Ⅴ　電化製品の移り変わり
氷冷蔵庫や二層式洗濯機の展示
Ⅵ　触れる展示コーナー
「黒電話」「教科書のコピー」「ソロカル（そろばん電卓）」「ぬり絵」等

・**主な展示資料及び資料点数**　　川越市の写真パネルや生活・勉強・遊び道具など200点以上
・**入館者数**　　9,776 人（1 日平均 272 人）
・**印 刷 物**　　パンフレット

⑤第 49 回企画展「もののふの美―復元大鎧公開―」

・**会　　期**　令和 5 年 3 月 18 日（土）～5 月 14 日（日）
・**展示概要**　平安時代中期から南北朝時代を中心に用いられた大鎧について、大鎧の歴史と美しさに魅せられ、その復元に挑んでいる市内在住の寺田勝廣氏製作の復元大鎧とその工程資料を展示した。



・**展示構成**　Ⅰ　復元大鎧の世界
Ⅱ　大鎧の構造と部品
Ⅲ　もののふのいでだち
・**主な展示資料及び資料点数**　　復元大鎧ほか　28 点
・**入館者数**　　7,534 人（1 日平均　156 人）
・**印 刷 物**　　ポスター・チラシ・パンフレット

（2） ふるさとのまつりコーナー展示

展　示　名	期　　間
まんぐり	4/23(土)～ 7/21(火)
古谷本郷の獅子舞	7/23(水)～10/27(木)
筒粥の神事	10/29(土)～ 1/26(木)
南田島の足踊り	1/28(土)～ 4/27(木)

（3） ギャラリー展示

展　示　名	期　　間
川越市の文化財（建造物）写真パネル展	6/28(火)～ 8/25(木)
川越まつり写真パネル展	8/27(土)～10/27(木)

６．教育普及事業

（１）講座・教室等の開催

① 子どもを対象とした事業

Ⅰ．子ども体験教室（１日コース）

様々な体験を通して歴史や文化に触れることを目的とする。特に１日かけて実施する事業である。

Ⅱ．子ども体験教室（半日コース）

様々な体験を通して歴史や文化に触れることを目的とする。主に土曜日に午前・午後の２回実施する事業である。

Ⅲ．子ども体験教室（夏休み特別企画）

夏休み期間中に、博物館で楽しく体験できる場を提供することで、歴史や文化財に対する理解や関心を深めることを目的としている。

Ⅳ．遊びの時間

夏休み期間中に、博物館で昔の子どもたちの遊びを体験することで、博物館に親しんでもらうことを目的とする。

主な遊びは、水鉄砲・水ヨーヨー・笹舟・手作りおもちゃ（コマ、アクセサリー、缶積み、紙相撲、魚釣り）・紙芝居・輪投げ・割り箸鉄砲などである。

② 大人を対象とした事業

Ⅰ．古文書講座入門編

初心者を対象に、江戸時代の簡単な古文書を読み解き、独特なくずし字に親しむことで、古文書への興味と関心を高めることを目的とする。

Ⅱ．古文書講座初級編

古文書講座などの経験者を対象に、初級レベルのくずし字を学ぶ。川越に残る江戸時代の古文書を読み解き、郷土に対する興味と関心を高めることを目的とする。

Ⅲ．古文書講座中級編

江戸時代の川越に関する資料の解読を行い、古文書の読解力向上を図る。

Ⅳ．博物館歴史講座

川越の歴史と文化について理解を深め、歴史に親しむことを目的とする。

Ⅴ．大人体験教室

あい染めや友禅染め、縄文土器などの製作を通じて、伝統技能や当時の人々の思いに触れることで、歴史や伝統文化に親しむ契機となることを目的とする。

Ⅵ．野外博物館教室

地域の伝統文化を見学することにより、地域の伝統文化の再発見を促し、郷土の歴史や文化に関心を持ってもらうことを目的とする。

Ⅶ．民俗芸能実演

指定無形民俗文化財の実演を通じて、川越に伝わる民俗芸能に親しむ機会を提供し、文化財保護の高揚に資することを目的とする。

《子どもを対象とした事業一覧表》

事業名		開催日		定員	応募者数	体験者数	ボランティア・講師	総参加者数	内　容	講　師
子ども体験教室（半日コース）	1	4月23日	土	16	16	14	3	17	まが玉を作ろう	館職員
	2	5月14日	土	12	12	12	8	20	茶道体験	川越茶友会
	3	5月28日	土	24	24	22	12	34	あいぞめでハンカチ作り	川越唐桟手織りの会
	4	6月4日	土	12	12	12	11	23	よろいを着て武士の世界へタイムスリップ	獅子の会
	5	6月11日	土	12	12	12	7	19	はにわを作ろう	川越縄文土器の会
	6	10月1日	土	12	10	10	9	19	昔の織物に挑戦－アンギン体験－	機織り委員会
	7	11月19日	土	12	10	9	7	16	いけばな体験	草月会埼玉県支部
	8	12月10日	土	12	12	12	6	18	お正月飾りを作ろう	小峯吉衛氏
	9	1月14日	土	8	8	7	5	12	まゆ玉飾りを作ろう	館職員
	10	2月18日	土	無	－	113	8	121	昔の道具を使ってみよう	館職員
	11	3月11日	土	12	12	11	7	18	和紙作りに挑戦	谷野裕子氏
	12	3月18日	土	12	10	10	6	16	わら細工に挑戦	鈴木二郎氏
	合計				138	244	89	333		
子ども体験教室（夏休み特別企画）	1	8月4日	木	12	12	12	3	15	ミニ灯籠を作ろう	館職員
	2	8月20日	土	8	8	6	7	13	親子で木を使って遊ぼう	県立川越高等技術専門校
	3	8月24日	水	8	8	8	3	11	組紐を作ろう	館職員
	合計			28	28	26	13	39		
	1	7月30日	土	無	－	96	10	106	遊びの時間（紙芝居、ヨーヨー釣り、わりばし鉄砲作り等）	館職員
	合計					96	10	106		
子ども対象事業合計						366	112	478		

※体験者数は付添いの保護者等を含む。



子ども体験教室「お正月飾りを作ろう」
博物館体験学習室にて



子ども体験教室「茶道体験」
川越城本丸御殿にて

《大人を対象とした事業一覧表》

講座・講演会

事業名	NO.	開催日	曜	定員	応募者数	体験者数	ボランティア・講師	総参加者数	内　容	講　師
古文書講座	1	9月4日	日	40	38	35	3	38	古文書講座	重田正夫氏（埼玉県地方史研究会会長）
	2	9月11日	日	40		31	3	34	古文書講座	同上
	3	9月18日	日	40		26	3	29	古文書講座	同上
	合計			120	38	92	9	101		
博物館歴史講座	1	2月19日	日	80	80	25	3	28	川越の民俗	館職員（川邉）
	2	2月26日	日	80		31	3	34	川越の民俗	大久根　茂氏（川越市文化財保護審議委員）
	3	3月5日	日	80		35	3	38	川越の民俗	館職員（峯岸）
	合計			240	80	91	9	100		
講座・講演会合計				360	118	183	18	201		

教室

事業名		開催日	曜	定員	応募者数	体験者数	ボランティア・講師	総参加者数	内　容	講　師
大人体験教室	1	5月29日	日	14	14	14	10	24	あいぞめでハンカチ作り	川越唐桟手織りの会
	2	9月10日	土	8	9	9	3	12	友禅染体験	千代田靖苑氏
	3	2月4日	土	12	12	12	6	18	土偶作り教室	川越縄文土器の会
	合計			34	35	35	19	54		
野外博物館教室	1	11月24日	木	12	11	11	6	17	中世鎌倉ゆかりの地を巡る	佐藤春生氏（毛呂山町立歴史民俗博物館副館長）他
	2	3月21日	火	12	11	11	8	19	市指定無形民俗文化財－芳地戸のふせぎを訪ねて－	栗原隆氏（芳地戸自治会長）
	合計			24	22	22	14	36		
教室合計				58	57	57	33	90		

（２）博物館ボランティア

① ジュニアボランティア

目　的

家庭、学校、地域社会が一体となって青少年の豊かな人間性や社会性を育てていくことが強く求められている中で､ボランティア活動の重要性が一層高まっている｡次代を担う子どもたちが、率先してこのような活動に参加できる機会を提供し、何事にも意欲的に取り組む心を育てることをねらいとする。

内　容

子ども体験教室の手伝い（受付、参加者の活動支援、後片付け等）

活動日時

子ども体験教室開催日（10：00～12：00、13：30～15：30）

対　象

小学校５年生～高校生までの児童・生徒

その他

当館負担のボランティア保険に加入する。謝金、交通費、食糧費等の支給はなし。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動中止

② 市民ボランティア

目　的

いろいろな技術や特技を持った市民や団体の方に、ボランティアとして当館主催事業に協力していただくことで、事業内容の充実と事業運営の効率化を図る。また、ボランティア活動をとおして、博物館活動への理解とボランティア間の交流を深める。

登録方法

一般公募をし、ボランティア活動説明会に参加した後、当館の事業運営の方針と活動の趣旨に同意した方を名簿に登録する。

主な活動事業及び活動内容

事　　業　　名	活　　動　　内　　容
子ども体験教室、夏休み子ども体験、遊びの時間	体験活動の支援及び指導、資材の準備、当日の運営、後片づけ
「むかしの勉強・むかしの遊び」展	市内小・中学校児童・生徒への学習支援（主に小学校３年生）
野外博物館教室等	受付、引率補助
歴史講座等	受付
蔵造り資料館ガイド	閉館中のため活動なし
本丸御殿ガイド	20 分程度の簡単なガイド

その他

当館負担のボランティア保険に加入する。謝金、交通費、食糧費等の支給はなし。

（３）博物館同好会

目　的

生涯学習の場として多様な学習機会を提供し、市民参加による博物館活動の拡充を図る。

講座・教室等の企画・運営に協力し、教育普及活動の内容の充実と事業運営の円滑化を図る。

登録団体

原則として、当館の講座・教室等の参加者を基盤として構成された団体で、博物館活動の趣旨を理解し協力できると認められる団体。

令和４年度同好会

川越縄文土器の会、川越唐桟手織りの会、華の会、川越古文書同好会、機織り委員会

① 講座・教室等への協力

事　業　名	事　業　内　容	活動内容	活動日	同　好　会　名
大人体験教室	あいぞめでハンカチ作り	講師	―	川越唐桟手織りの会
大人体験教室	土偶作り教室	講師	―	川越縄文土器の会
子ども体験教室	あいぞめでハンカチ作り	講師	―	川越唐桟手織りの会
子ども体験教室	はにわを作ろう	講師	―	川越縄文土器の会
子ども体験教室 （夏休み特別企画）	昔の織物に挑戦	講師	―	機織り委員会
「むかしの勉強・むかしの遊び」展	市内小・中学校児童・生徒への学習支援 （主に小学校３年生）	支援	―	全同好会 川越市更生保護女性会

② 機織り実演・体験（体験学習室）

○唐桟実演・体験　毎週木・日曜日　10：00～12：00、13：00～15：00（川越唐桟手織りの会）

その他

当館負担のボランティア保険に加入する。

（４）松平大和守家記録を読む会

目　的

明和４年(1767)から約 100 年間川越城主であった松平大和守家の日々を記録した「松平大和守家記録」の翻刻を行う。

登録方法

古文書講座中級編を受講した後、趣旨に同意した受講生を中心に登録

活動日時

毎月第２火曜日を基本とした午前 10 時 30 分～午後 3 時 30 分

活動成果

安永７年分を翻刻。

その他

当館負担のボランティア保険に加入する。

7．学校教育との連携事業

（1）学校教育との連携事業

目　的

小・中・高等・特別支援学校等の社会科等の教科並び総合的な学習の時間等の領域の学習内容に応じた学習支援に努める。

① 学校の利用状況

年度		博物館				本丸御殿				蔵造り資料館			
項目		学校	引率者	児童生徒学生	利用者	学校	引率者	児童生徒学生	利用者	学校	引率者	児童生徒学生	利用者
小学校	川越市内	76	289	6651	6940	7	22	309	331	耐震化工事のため休館中			
	埼玉県内	63	280	4036	4316	1	3	33	36				
	埼玉県外	2	10	145	155	1	5	114	119				
	合　計	141	579	10832	11411	9	30	456	486				
中学校	川越市内	11	61	945	1006	11	60	991	1051				
	埼玉県内	66	440	6702	7142	61	424	6221	6645				
	埼玉県外	75	512	7626	8138	72	516	7993	8509				
	合　計	152	1013	15273	16286	144	1000	15205	16205				
特別支援学校等	川越市内	2	14	45	59	1	7	16	23				
	埼玉県内	5	17	34	51	3	8	20	28				
	埼玉県外	0	0	0	0	0	0	0	0				
	合　計	7	31	79	110	4	15	36	51				
幼稚園保育園	川越市内	0	0	0	0	1	2	30	32				
	埼玉県内	0	0	0	0	0	0	0	0				
	埼玉県外	0	0	0	0	0	0	0	0				
	合　計	0	0	0	0	1	2	30	32				
高等学校	川越市内	0	0	0	0	0	0	0	0				
	埼玉県内	0	0	0	0	0	0	0	0				
	埼玉県外	2	4	52	56	3	8	63	71				
	合　計	2	4	52	56	3	8	63	71				
大学	川越市内	2	2	42	44	2	2	42	44				
	埼玉県内	0	0	0	0	0	0	0	0				
	埼玉県外	0	0	0	0	1	2	34	36				
	合　計	2	2	42	44	3	4	76	80				
累計	川越市内	91	366	7683	8049	22	93	1388	1481				
	埼玉県内	134	737	10772	11509	65	435	6274	6709				
	埼玉県外	79	526	7823	8349	77	531	8204	8735				
	総　計	304	1629	26278	27907	164	1059	15866	16925				

② バス利用による博物館学習（市内小学6年生・3年生）

概　要

○バス利用を希望する学校に借上バスを配車し、児童の送迎を実施
○各学校の社会科年間指導計画に位置づけた学習として実施
○各学校の要望に応じた博物館学習の支援
○小学校第３学年の学習に応じた企画展の開催や体験活動の実施
○館職員や学習アドバイザー（市民ボランティア）による学習支援

状　況

	小学校第６学年	小学校第３学年
実施期間	○令和４年６月１日～7月８日 ○令和４年９月 13 日～10 月 25 日	○令和５年１月 24 日～3 月 3 日
実施日数	○18 日間 ・バスを利用した日数：15 日 ・徒歩で利用した日数：3 日	○18 日間 ・バスを利用した日数：15 日 ・徒歩で利用した日数：3 日
配車台数	○延べ 30 台（1 日 2 台×15 日）	○延べ 30 台（1 日 2 台×15 日）
学校数	○32 校／32 校中	○32 校／32 校中
児童数	○3,091 名	○2,905 名

③ 小学校社会科「県内の特色ある地域」の学習を目的とした学校への支援（小学4年生）

概　要

○校外学習で博物館等の施設を利用する際の資料解説等の支援

○学習のねらいに迫る効果的な見学地・見学経路・見学内容等の紹介

○博物館等の施設での学習を支援する「学習カード」の開発・ＨＰ掲載

○授業で使える教材や情報の提供、人材の紹介

状　況

項 目 館 種	博　物　館	蔵造り資料館	本丸御殿
利用学校数	61 校	休館中	0 校
児　童　数	3,946 名		0 名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、博物館の受け入れは午前中のみ実施し、本丸御殿の受け入れは中止した。

④ 博物館職員による訪問授業

概　要

○博物館等の施設に訪問できない学校を対象とした学習支援

○訪問授業で利用できる資料の作成

状　況

○校外学習の学習計画を立案する際のアドバイザーとしての派遣

○川越市立特別支援学校での学習支援

	のべ学校数	のべ学級数	学　年(校数)	教科等(校数)
小　学　校	23校	55学級	2年(1),3年(3),4年(7),5年(1) 6年(7),特別支援学級(1) 全校(1),クラブ(2)	社会(8),総合(12) 図工(1),クラブ(2)
中　学　校	9校	43学級	1年(2),2年(2),3年(3) 全校(1),教育支援室(1)	総合(8),その他(1)

※上記以外に川越市立特別支援学校での社会科訪問授業を実施

（２）教員対象の連携事業

目　的

川越市に勤務する小・中・高等・特別支援学校の教員を対象とした研修会を企画・運営し、積極的な博物館活用を推進できる教員の育成に努めること。

① 博物館利用研究委員会

概　要

○学校教育での博物館活用について、様々な教科・領域で効果的な活用を推進するための研究組織

○研究委員は川越市立小・中学校教員12名で構成

○「博物館資料を活用した授業づくり」を研究主題とし、博物館で行う授業と、学校に赴いて授業を支援する訪問授業の在り方を研究

○「わたしたちの郷土川越展」審査会（委員長・副委員長）

状　況

回	実 施 日	主　な　活　動　内　容
1	5 月 25 日 16:00～16:30	【オンライン】 ○全体会 ・本年度の計画について ・指導カードの作成について ・研究授業の実施時期の確認 ・各分科会の日程調整
—	【分科会】 8 月 4 日 ・小学校Ａ	○単元計画作成に向けた内容検討 ○単元計画作成のための資料収集
2	9 月 9 日 15:00～16:30	○全体会 ・今後の研究について ○分科会 ・実践に向けた授業検討
3	10 月 14 日	○全体会 ・今後の研究について ○分科会 ・指導カードの作成について ・実践に向けた授業検討
—	10 月 19 日 10 月 26 日	○博物館活用研修会 ・博学連携と博物館の活用方法 ・博物館見学及び出前授業の資料確認
—	11 月 5 日～ 12 月 4 日	○第３３回「わたしたちの郷土川越展」 ・市立小、中、特別支援学校より募集 ・応募点数：絵画の部260点 自由研究の部52点 ・展示点数：絵画の部80点（入賞25点　入選55点） 自由研究の部 20 点（入賞 10 点　入選 10 点）
4	11 月 8 日 15:00～16:30	○全体会 ・今後の研究について ○分科会 ・指導カードの作成について ・実践に向けた授業検討
5	3 月 1 日 15:30～16:30	○全体会 ・各分科会からの報告 ・「やまぶき」について ○分科会 ・「やまぶき」の原稿の確認 ・各分科会での成果と課題について

② 川越の歴史を学ぶティーチャーズセミナー

概　要

○川越市教職員研修の一環として実施した希望研修

○教職員の川越の歴史に対する理解を深め、地域に根ざした特色ある教育活動の推進と郷土川越を愛する児童生徒の育成に資するための研修

状　況

実 施 日	参加校	参加者	主　な　内　容
7月28日 13:30～16:30	8校	8名	○徳川家と川越のつながりを巡り歩く ・喜多院、仙波東照宮、蓮馨寺、本丸御殿

※天候不安定のため喜多院、仙波東照宮、本丸御殿、博物館見学に変更して実施

（３）研修会等の受け入れ

目　的

学校や各種行政機関、博物館関係者等による実習・研修・調査等への要請に応じ博物館活用に関わる指導者の養成や情報の提供・発信等に努めること。

主なものは以下のとおり。

① 川越市立小・中学校初任者研修

概　要

○初任者研修の施設体験研修の一環として実施

○教育センターが企画し、講師として博物館職員が担当

○博学連携を学び、博物館を活用した学習ができる教員の育成を目的とした研修

状　況

実 施 日	校 種	参加者	主　な　内　容
8月17日 8:30～16:20	小学校 中学校	75名	○川越市立博物館における博学連携の取組

② 埼玉県教員養成セミナー

概　要

○埼玉県が実施している教員志望者（大学生）研修

○博学連携を学び、博物館を活用した学習ができる教員の育成を目的とした研修

実 施 期 間	校 種	参加者	主　な　内　容
4月17日 9:30～11:30	各大学	76名	○博物館常設展示室、本丸御殿、美術館の見学（解説あり）

（４）博物館実習

大学名	人数	実　習　期　間
尚美学園大学	1	7 月 27 日(水)～8 月 3 日(水) 7 日間
大東文化大学	2	
十文字学園大学	1	
日本大学	1	
明治大学	1	

８．資料の収集保管・活用

（１）資料の収集

① 令和４年度購入資料　　なし

② 令和４年度寄贈資料

寄 贈 件 数	資 料 点 数	内　　訳
16 件	1,780 点	美術・工芸　2 点 歴史・民俗　67 点 古文書　1,711 点

③ 令和４年度末現在の収蔵資料（整理済分）

区　　分	点　　数
美術・工芸資料	350 点
歴史・民俗資料	22,588 点
古文書	18,496 点
総　数	41,434 点

（２）資料目録の作成　　なし

（３）資料特別利用　　120 件　　1,204 点

（４）資料館外貸出　　3 件　　28 点

（５）撮影・取材協力

・博物館　17 件
・本丸御殿　16 件
・蔵造り資料館　0 件

９．利用案内

（１）入館料

区 分	博物館	川越城 本丸御殿	蔵造り 資料館 ※２	共通入館（観覧）券 博物館 美術館	博物館 本丸御殿 蔵造り資料館 ※２	博物館 本丸御殿 蔵造り資料館 美術館 ※２	博物館 本丸御殿 蔵造り資料館 美術館 まつり会館 ※２	(期間限定) 博物館 本丸御殿 美術館	(期間限定) 博物館 本丸御殿 美術館 まつり会館
一 般	200 円	100 円	100 円	300 円	300 円	450 円	650 円	370 円	600 円
	160 円	80 円	80 円						
大学生 高校生	100 円	50 円	50 円	150 円	150 円	220 円	450 円	180 円	400 円
	80 円	40 円	40 円						

※　　下段： 20 名以上の団体料金

※　　中学生以下無料

※２　蔵造り資料館耐震化工事中のため取り扱いなし

（２）開館時間

午前９時から午後５時まで（入館は午後４時 30 分まで）

（３）休館日

月曜日（休日の場合は翌日）

第４金曜日（休日を除く）

年末年始（12 月 29 日～１月３日）　※蔵造り資料館は１月１日まで

館内消毒（６月下旬）及び特別整理期間（年１回）　※博物館のみ